

文京区子ども読書活動推進計画（まとめ）

「文京区子ども読書活動推進計画」について、わかりやすくまとめました。

子ども読書活動推進計画って何？

この計画は、子どもたちが大切な本と出会い、読書の楽しさを知るために、身近な大人たちが力を合わせながら、子どもの読書活動を進めるため、これから5年間（令和8年度から令和12年度まで）の目標や取組をまとめたものです。

計画の目的（何のために？）

子どもたちがもっと本と出会い、読書を楽しめるようにするためのものです。これまでもいろいろな取組をしてきましたが、社会の変化に合わせて、たとえば、目の不自由な子どもも読書を楽しめるようにしたり、デジタルで読書ができるようにしたりといった新しい課題にも対応できるように考えています。

対象年齢（だれのために？）

0歳からおよそ18歳までの子どもたちを対象にしています

アンケート結果からわかったこと

- 読書が好きな子ども、きれいな子ども楽しめるように
読書がきれい、読みたい本が見つからないという子どものために、何をすればよいか考える必要があります。また、読書が好きな子どもたちがこれからも読書を楽しめるように、工夫していく必要があります。
- だれもが読書をしたときにできるように
子どもたちがいつも過ごす様々な場所で、読書ができる環境を整える必要があります



ぶんきょうく ぶんきょうく ぶんきょうく ぶんきょうく ぶんきょうく
文京区では、子どもたちが読書をもっと楽しめるように、つぎの
5つの大きな目標に取り組みます

もくひょう
目標1

赤ちゃんからおとなになるまで、ひとりひとりの成長に合わせて、
本と出会う機会をつくります

- 生後4か月の赤ちゃんに、絵本が入ったブックスタートパックをプレゼントします
- 年齢に合わせたブックリスト（おすすめの本のリスト）を作成します

もくひょう
目標2

目の不自由な子どもや、外国語を話す子どもなど、様々な子どもた
ちが読書を楽しめるようにします

- 点字図書、録音図書、大きな文字の本、布の絵本などの本や電子書籍を増やします
- 外国語の本、やさしい日本語で書かれた本を増やして、外国語でのおはなし会を行います

もくひょう
目標3

家、学校、図書館、児童館など、子どもたちが多くの時間を過ごす
いろいろな場所に本をならべ、読書したいときにできるようにします

- インターネットからも本が読める電子書籍を増やします
- 親子で楽しく安心して図書館をできるように、図書館のレイアウトやサービスを工夫します

もくひょう
目標4

おうちの方や周りのおとなに、読書の大切さを伝えて、子どもたち
と読書をもっと応援してもらえるようにします

- 子どもたちが読書への興味や関心を持つよう、イベントやコンテストなどを行います
- 保護者に子どもに読んでほしい本の紹介や講演会などを行い、読書の大切さを伝えます

もくひょう
目標5

地域のいろいろな団体、大学、本屋さんなどと協力して、子どもの
読書活動をもっと活発にしていきます

- 地域団体、大学、本屋さんなどと協力して、地域全体で子どもたちの読書を応援します
- 図書館のボランティアさんを育成して、読み聞かせやイベントのサポートを行います

